

一般社団法人 日本物理学会

第75期物理学史資料委員会（2019年4月～2020年3月）活動報告

委員長：小長谷大介

副委員長：岡本拓司

委員：村尾美緒（担当理事） 有賀暢迪 稲葉肇 岡本祐幸 興治文子 佐々木孝彦
所澤潤 高岩義信 永平幸雄 並木雅俊 難波忠清 林春雄

1. 物理学史資料委員会の開催

下記のとおり、4回の委員会議を行った。

第108回：2019年6月1日（土）14:00～17:20

第109回：2019年8月31日（土）14:00～17:00

第110回：2019年11月30日（土）14:00～17:00

第111回：2020年2月28日（金）[メール審議]

2. グループの構成

前年度のグループ構成を引き続き維持した。なお、第75回年次大会（名古屋大学）の展示企画にあたり岡本（祐）委員が④グループに加わった。各グループの構成メンバー（◎印の委員はチーフ）は以下の通りである。

① 資料委員会保有資料の保存と管理

◎並木、高岩、所澤、事務局

② 『会報』掲載資料及び資料保存機関の情報の随時アップデートとオンライン化の検討

◎岡本（拓）、岡本（祐）、有賀、佐々木

③ 資料委員会のホームページの充実

◎高岩、林

④ 学会開催時のシンポ・展示等の企画検討

◎小長谷、有賀、稲葉、岡本（祐）

⑤ 「年表（第二版）」の定期的アップデート手順の検討

◎難波、岡本（拓）、並木、所澤

⑥ 「物理遺産の検討」

◎永平、岡本（祐）、林、稲葉

3. 物理学史資料に関する情報

資料委員会会議時に各地の物理学史資料情報の収集を行った。今期の報告において言及された資料館、博物館には以下のものが含まれる。

東北大学総合学術博物館、東北大学・金属材料研究所、核融合科学研究所、高エネルギー加速器研究機構、姫路科学館、国立科学博物館、京都大学基礎物理学研究所・湯川記念館史料室、大阪大学総合学術博物館、東京大学、東京大学駒場博物館

4. 各グループの活動

①資料委員会保有資料の保存と管理

書庫の温度・湿度の記録と冷房と送風の切替を行った。

②『会報』掲載資料及び資料保存機関の情報の随時アップデートとオンライン化の検討
物理学史資料委員会会報に代えて、物理学史資料委員会ニュースを制作・刊行した。第75期中には、第1号（2019年10月2日）と第2号（2020年3月10日）がウェブ上で公表されている。記事の集積を待ってニュース刊行の頻度を上げることで、資料保存機関に関する情報の速報性も高まり、実質的にはオンライン化と同じ効果を果たすことになるものと思われる。

③資料委員会のホームページの充実

物理学史資料委員会ホームページの新しいフレームワークのプロトタイプを作成した。

④学会開催時のシンポ・展示等の企画検討

A. 第75回年次大会（名古屋大学）において、名古屋大学物理学教室の源流に関する

「名大物理学教室の礎を築いたパイオニア」展示（会期：2020/3/17-3/21，会場：名古屋大学博物館）を企画し、開催予定であった。だが、年次大会の現地開催中止および名大博物館の休館にともない延期となった。開催時期は未定である。展示では、名大物理学教室の素粒子・宇宙・物質・生物の4分野の代表的な物理学者4名（素粒子：坂田昌一(1911-1970)、宇宙：早川幸男(1923-1992)、物質：上田良二(1911-1997)、生物：大澤文夫(1922-2019)）を取り上げる予定。

B. 上記の展示に合わせて、第75回年次大会では領域13シンポジウム「名大物理学教室の礎を築いたパイオニア」を企画した。3/16(月)14:00-16:50の予定だったが、現地開催中止となった。プログラムは、趣旨説明(小長谷大介)，坂田昌一：物理と方法(西谷正)，早川幸男：その生涯と物理(早川尚男)，上田良二先生と名古屋大学の電子線物理学の発展(田中信夫)，大澤文夫：その生涯と物理(岡本祐幸)，コメント(有賀暢迪)，総合討論(稲葉肇)。

⑤「年表（第二版）」のウェブ公開と定期的アップデートについて

A. 既刊の年表（第二版）のウェブ公開を行った（2019年12月）。公開は、「物理学会関連」に限定し（「社会・文化」のページは除く）、かつ公刊されている体裁でPDFの形で掲載した。ウェブ公開に当たっては、第二版における誤字・脱字、変換ミスなど軽易な修正のみに留め、記事の追加は最小限度に留めた。

B. 「年表（第二版）」以降（2012年以降）のアップデートについて予備作業を行った。年表グループメンバーが、委員会開催日に合わせて、午前中に作業を実施した。2012年～2016年分の「物理学会関連」欄のデータを、学会誌などを参照に作成し、そ

の点検・校正作業を進めた。作業はほぼ最終段階まで到達しているが、メンバーによる最終点検が残されている段階である。ウェブ上での体裁などは、既刊の年表（第二版）に合わせる。

⑥物理遺産の検討

物理遺産グループおよび資料委員会で検討議論をもとに、下記の論文が物理学会に掲載された。

永平幸雄「日本物理学会認定「物理遺産」はありえるか？—一日米欧7学会のWeb調査をもとに」『日本物理学会誌』75(1), 2020, 40-44.

5. 資料保存の実施現場の見学会

東京大学の工学・情報理工学図書館、理学図書館、村尾理事、岡本(拓)副委員長の協力のもと、物理学史資料委員会および事務局のメンバーによる資料保存の実施現場への見学会を企画し、2月28日午前に予定していた。だが、新型コロナウイルス感染症に関連する対応のため、実施は中止となった。以下は予定していたプログラムである。

2020年2月28日(金) 9:30~12:00

9:30: 東京大学(本郷)工3号館図書室に集合

9:35~10:00 (20分) 工3号館図書室(集密書架)

10:00~10:05 (5分) 移動

10:05~10:25 (20分) 工2号館図書室(電気系の書庫)

10:25~10:30 (5分) 移動 工2号館2階南口で解散

10:45 理学図書館へ移動

11:00頃~12:00頃 山川健次郎関係資料および戦前のニュートン祭の資料の閲覧

以上